

Table with 5 main rows: 事務事業名 (生活保護扶助事業), 政策名 (III)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》, 施策名 (20)低所得者の支援, 基本事業名 (057)相談体制の充実・強化. Includes columns for 所属部 (健康福祉部), 所属課 (健康福祉総務課), 所属G (生活福祉G), 課長名 (梅木 郁夫), 担当名 (松尾 博), 電話番号 (0854-40-1041), 予算科目 (0115151001).

1 現状把握の部

(1) 事業概要

Table with 3 columns: ①事業期間 (単年度のみ, 単年度繰返, 期間限定複数年度), ②事業の内容 (被保護者に保護費を支給する), ③開始したきっかけ (現行生活保護法は昭和25年に成立...).

(2) トータルコスト

Table with 2 main parts: ①事業費の内訳 (概要) showing 生活保護扶助事業 details and ②延べ業務時間の内訳 (業務の流れ等) showing staff and time costs. Includes a detailed cost breakdown table with columns for 財源内訳 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他, 一般財源) and 人件費 (正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計).

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Table with 2 main parts: ①主な活動 (23年度実績, 24年度計画) and ⑤活動指標 (ア保護開始件数, イ被保護世帯数, ウ被保護人員, エ保護率, オケースワーカー数).

Table with 2 main parts: ②対象 (被保護者) and ③意図 (健康で文化的な最低限度の生活を保障) and ⑥対象指標 (ア被保護世帯数, イ被保護人員) and ⑦成果指標 (ア支給件数, イ支給金額) and ⑧上位成果指標 (ア自立による保護廃止件数).

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ①事務事業を取り巻く状況 (生活保護法による法定受託事務...), ②この事務事業に関する (保護の適正実施に向け平成22年度より就労支援員...), ③この事務事業に対して関係者 (市民、議会、事業対象者、利害関係者等) から (真に保護の必要な者が保護を受給できる...).

事務事業名	生活保護扶助事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課
-------	----------	-----	-------	-----	---------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 国民の生活困窮に対するセーフティネットであり、有効である。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 生活保護法による法定受託事務であり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 生活保護法により基準が定められており、変更の余地はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 生活保護法により基準が定められており、向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 生活保護法による法定受託事務であり、廃止・休止は検討できない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 国民の生活困窮に対するセーフティネットであって、他法他施策が優先することとされていることから類似事業との統廃合の検討の余地はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 国民の最低生活を保障する制度であり、予算不足を理由に保護を拒否したり、保護の停・廃止を行うことはできず、そうした意味からは削減の余地はない。一方、自立の助長の観点からは、就労支援等により被保護世帯の自立を図り、もって扶助費の削減を図ることは考えられる。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 社会福祉法第16条に定める所員の定数どおりの配置をしており、また、自立の助長に向けた援助業務の状況からも人員の削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 生活保護法第2条に規定する無差別・平等の原則に基づいて実施している。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	特になし																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
特になし																						